

U.S. Indicators

発表日: 2022年8月4日(木)

米国7月ISM非製造業上昇でリセッション懸念がやや後退

～供給制約やインフレ圧力が緩和傾向～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

22年7月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、56.7(前月55.3)と市場予想の53.5への低下に反して前月比+1.4%p上昇し、高い水準を維持した。これを受け、市場での景気後退懸念が若干弱まった。

入荷遅延が供給制約の緩和によって低下した一方、新規受注、活動指数が需要の強さを背景に上昇したほか、離職者の補充困難が続くなかで雇用指数が小幅上昇したことで、全体を押し上げた。米国の非製造業部門は、インフレ高進、金利急騰のほか、人手不足、生産能力不足などによる供給制約など多くの逆風を受け減速しているものの、堅調さを維持している。そのような中、非製造業部門で供給制約やインフレ圧力の若干の緩和が示された。

7月は、18業種中13業種が拡大した(6月18業種の拡大)。拡大した業種で、強い順に鉱業、不動産業、公的部門、企業向けサービス、建設業、教育サービス、その他サービス、公益、専門・科学・技術サービス、医療・社会支援、運輸・倉庫、卸売業、情報産業と続いた(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。縮小した業種は、農林水産業、小売業、金融・保険の3業種(6月ゼロ業種)。芸術・娯楽・レクリエーション、宿泊・飲食サービスは変わらずとなった。

企業からの報告で、教育サービス、公益、卸売業が需要の強まりを指摘したほか、公益ではサプライチェーン問題が残存するも改善が報告された。一方、宿泊・飲食サービスでは売上鈍化、小売業では販売鈍化を受け在庫削減が必要と報告されたほか、建設業では住宅購入のキャンセル増など金利上昇による住宅建設市場への悪影響が指摘された。また、医療・社会支援は事業活動が過去6カ月程度横ばいにとどまり、コロナ危機前を依然下回っていると報告したほか、企業向けサービスでは、顧客の景気後退に備えた動きが指摘された。

インフレ関連では、行政が燃料、食品、一般商品、労働などのコスト増加を指摘した。労働情勢関連では、宿泊・飲食サービスが一部でスタッフ不足が続いていること、専門・科学・技術サービスが労働需要の堅調持続を報告した。

非製造業総合指数の構成項目では、入荷遅延が57.8(前月61.9、前月比▲4.1%p)と低下した一方、新規受注が59.9(前月55.6、前月比+4.3%p)、活動指数が59.9(前月56.1、前月比+3.8%p)、雇用が49.1(前月47.4、前月比+1.7%p)と上昇した。新規受注、活動指数は高い水準を維持しており、需要が依然強いことを示している。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比▲1.03%pの押し下げ寄与となった一方、新規受注が前月比+1.08%p、活動指数が前月比+0.95%p、雇用が前月比+0.43%pの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、新規輸出受注が59.5(前月57.5、前月比+2.0%p)と上昇し高い水準を維持しており、米国サービス輸出の高い伸びを示している。一方、輸入は48.0(前月46.3、前月比+1.7%p)と上昇したが50を下回っており、サービス輸入の縮小持続を示した。



インフレ環境では、仕入価格指数が72.3（前月80.1）と低下しインフレ圧力の緩和が示されたものの、ディーゼル燃料、ガソリン、労働コスト、燃料、鉄鋼製品、電気部品等の上昇によって高い水準にとどまっており、インフレ圧力は依然強いことが示された。

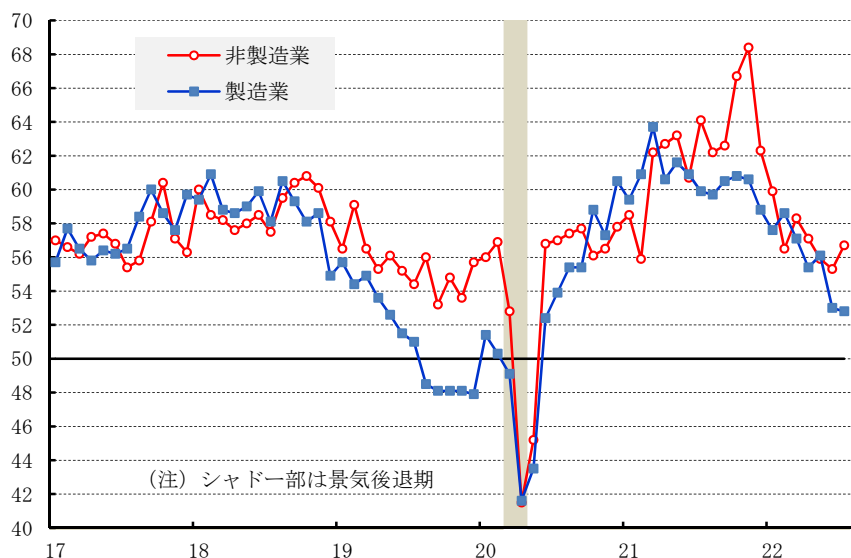
米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、7月に56.3（6月55.1）と前月比1.2%p上昇したことで、4－6月期の56.0からも小幅上昇しており、7－9月期の米景気の拡大持続を示唆した。

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
21/07	64.1	66.3	64.1	54.1	72.0	63.5	81.4	65.8	49.2
21/08	62.2	61.5	63.8	54.1	69.6	61.3	75.9	60.6	46.9
21/09	62.6	63.4	64.2	54.1	68.8	61.9	79.5	59.5	46.1
21/10	66.7	69.4	69.0	52.8	75.7	67.3	83.0	62.3	42.2
21/11	68.4	72.5	68.3	57.0	75.7	65.9	83.0	57.9	48.2
21/12	62.3	68.3	62.1	54.7	63.9	62.3	83.9	61.5	46.7
22/01	59.9	59.9	61.7	52.3	65.7	57.4	82.3	45.9	49.4
22/02	56.5	55.1	56.1	48.5	66.2	64.2	83.1	53.0	50.8
22/03	58.3	55.5	60.1	54.0	63.4	64.5	83.8	61.0	51.7
22/04	57.1	59.1	54.6	49.5	65.1	59.4	84.6	58.1	52.3
22/05	55.9	54.5	57.6	50.2	61.3	52.0	82.1	60.9	51.0
22/06	55.3	56.1	55.6	47.4	61.9	60.5	80.1	57.5	47.5
22/07	56.7	59.9	59.9	49.1	57.8	58.3	72.3	59.5	45.0

（出所）ISM

（資料）ISM景気指数の推移



（出所）ISMより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

